

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	5613
部名	保健所	課名	地域保健課	課長名	宮崎達夫
事務事業名	総合保健医療センター維持管理運営事業				
予算上の事務事業名	総合保健医療センター維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第1節 地域保健対策の充実				事業開始年度
施策名	第1施策 総合的な地域保健医療体制の確立				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
市庁舎管理規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民への保健医療サービスの提供を行うため、安全で衛生的な施設環境を保つ。環境面へも配慮し、省エネルギーの観点から光熱水費の削減を図る。			総合保健医療センター		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
計画的・効率的な予算執行を行うほか、環境配慮行動として省エネルギー行動の実行を行う。					
総事業費	189,964千円	維持補修費	1,381千円		
需用費	65,682千円				
役務費	392千円				
委託料	121,702千円				
使用料及び賃借料	2,143千円				
備品購入費	92千円				
負担金、補助及び交付金	5千円				
6 関連・類似事業や他市の状況					
類似施設なし					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	198,859	194,259	191,345	198,831	198,831
一般財源	194,733	189,691	186,777	194,964	194,964
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	4,126	4,568	4,568	3,867	3,867
人件費の合計	1,132	1,132	1,132	1,132	1,132
事業コスト合計(a)	199,991	195,391	192,477	199,963	199,963
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	総合保健医療センター維持管理費			対象名称(単位)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	198,161	193,122	189,964	197,331	197,331
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	198,161,000	193,122,000	189,964,000	197,331,000	197,331,000
前年度比		0.97	0.98	1.04	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	施設管理に関する苦情件数		指標式と指標の説明	苦情0を目標とし、100とする。総務医事班や広聴班への年間苦情件数 = 実績値、実績 = (0 - 実績値) + 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	98.0	98.0	98.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	98.0	98.0	98.0			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	センター維持管理費（維持補修費を含む）比較率		指標式と指標の説明	12年度のセンター維持管理費（207,996）を100と比較 実績 = (目標 - 実績値（毎年の維持管理/12年）) + 目標		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.1	99.5			
目標	98.0	97.0	96.0	95.0	95.0	
目標達成度	102.0	103.2	103.6			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 施設の利用状況に応じた、より細やかな省エネへ配慮による光熱水費削減、ごみ減量・再資源化の推進で、経費的削減により効率化。市民・職員等とのコミュニケーションのなかで安全を最優先し、利用しやすい運用環境を作る			14 課題として認識されたこと 施設の利用しやすさと安全性等の規則、経費削減等とのバランス			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			効果的な管理に取り組む。			